

令和6年度

中学生体験学習を終えて



市内中学校の3年生を対象に、東日本大震災被災地などを視察する中学生体験学習を6月に実施しました。

生徒たちは、被災地を視察する中で、今も残る津波の痕跡や被災者の記憶に触れることで、災害の恐ろしさや命の尊さを学びました。

また、この地で生きる地域住民のリアルな声を実際の被災現場で聞くことによって、防災への意識を一層高めるきっかけとなりました。特に2日目のワークショップでは、「震災被災地から何を持ち帰るのか」というテーマで、宮城教育大学の武田真一特任教授の話聞きながら、「災害が起きたときに重要なことは何か」、「とるべき行動とは何か」について、一緒に考えました。

各学校では、中学生体験学習での経験を活かし、防災に関する学習活動に取り組みながら、地域との絆を深めていきます。

◎本事業は、「学校、家庭、地域連携協力推進事業費補助金」を活用し、実施しています。

【日程】

実施日	学校名	生徒数	教員数
6月4日(火)～7日(金)	佐織中学校、佐織西中学校	188人	19人
6月11日(火)～14日(金)	永和中学校、立田中学校、八開中学校	164人	21人
6月18日(火)～21日(金)	佐屋中学校	179人	13人

◇主な視察先



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



日本三景松島(松島復興クルーズ)



ワークショップ

